

◆
**こどもが主役の街「キッザニア東京」に
環境NPO オフィス町内会が「キッザニアの森」を出展**
キッザニア初 第一次産業のパビリオン 2010年5月26日(水)オープン
◆

環境NPO オフィス町内会(所在地:東京都港区、代表者:半谷 栄寿、以下、オフィス町内会)は“こどもが主役の街”「キッザニア東京(KidZania Tokyo)」の企画・開発を行う、株式会社キッズシティージャパン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO:住谷 栄之資、以下キッズシティージャパン)と、「キッザニア東京」の『キッザニアの森』パビリオンの出展に関し合意しました。この合意により2010年5月26日(水)から、「キッザニアの森」パビリオンがオープンします。

オフィス町内会は、森林を健全に育てるために必要な間伐を促進する「森の町内会」活動に取り組んでおり、昨年7月に開催した「Out of KidZania 2009 林業体験 in 岩手」をキッズシティージャパンと共催しています。

「キッザニアの森」パビリオンはキッザニア初となる第一次産業のパビリオンで、こども達は「枝打ち」アクティビティを体験できます。パビリオンでは、木の成長のために切るべき枝はどれなのかを考えて、「枝打ち」します。こども達は、林業という仕事を通じて、「のこぎり」の安全な使い方を学ぶとともに、森が健康に育つためには、枝や木を切ることが必要であることを知ります。なお、こども達には、切り落とした枝は、リサイクルされて有効に活用されることも伝えていきます。

オフィス町内会とキッザニアは、こども達が、林業体験を通じて森林の大切さや森林保全における枝打ち・間伐等手入れが必要であること、つまり、木を適切に切ることで森が元気に育ち林業が成り立つことを伝えたいとの思いから、今回の合意に至りました。

キッザニアのコンセプトは、「エデュケーション(学び)」と「エンターテインメント(楽しさ)」を合わせた、『エデュテインメント』です。そのコンセプトのもと実在する企業が出展するパビリオンは、現実社会のほぼ2/3のサイズで造られ、リアルな街並みを形成します。こども達は街の中で様々な職業や習い事などを体験することで、楽しみながら社会や職業・経済を学ぶことができます。「キッザニア」は、その地域の国民性や文化、産業・経済構造までを、実社会に限りなく近く再現することで、こども達にとって最高の社会体験の題材となることを目指して常に進化・変化しております。

◆

Press Release

□ 環境 NPO オフィス町内会

団体名 : 環境NPO オフィス町内会
所在地 : 東京都港区新橋 2-16-1 ニュー新橋ビル 517 号
代表者 : 代表 半谷 栄寿
設立 : 1991 年 8 月
URL : <http://www.o-cho.org/index2.html>



□ キッズシティージャパン

社名 : 株式会社キッズシティージャパン
本店所在地 : 東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル北館 2 階
代表者 : 代表取締役社長兼CEO 住谷 栄之資
設立 : 2004 年 9 月 27 日
資本金 : 2 億 5,200 万円



キッズニアとは:

施設内には、消防署、病院、運転免許試験場、銀行、飛行機、ラジオ局、理容店、ピザショップなどのパビリオンが立ち並び、こどもの街を形成します。1999年に誕生したメキシコのキッズニアは、年間来場者数82万人、227日間満員記録を樹立するなど、そのユニークなコンセプトが社会的にも高く評価されています。

2006年に東京のアーバンドックららぽーと豊洲内に日本で初めてオープンした「キッズニア東京」は、2009年10月には3周年を迎え、開業以来280万人を超える来場者を迎えることができました。また、2009年3月27日には兵庫県西宮市のららぽーと甲子園内に国内2番目となる「キッズニア甲子園」がオープンしました。

大成功を収めているメキシコでの運営システムをベースとし、キッズニア東京62社、キッズニア甲子園61社(※1)ものスポンサー企業に支えられながら日本のこども達をとりまく環境や「こども議会」(※2)のアイデアなどを反映し、未来の社会を担うこども達のためのエデュテインメントタウンを目指しています。

※1 2010年4月26日現在のキッズニア東京・キッズニア甲子園 スポンサー数

※2 こどもが主役の街「キッズニア」をより良くするために活動しているグループ